

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立三重小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立三重小学校	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>	<a href="https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/">https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/</a>

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

### (3) 自校における評価

- 第1学年からの英会話学習の実施が、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成につながっている。EAAの発音を聞きながら楽しく英会話の学習をし、コミュニケーション能力の向上が見られる。
- EAAと自然に英語で挨拶を交わしたり、ゲームを通して英語を身近に感じている様子が見られる。
- 外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっている。外国の方に対する親しみを持ち、また、授業を通して外国の行事や文化を知り、興味をもつ児童も見られている。
- 3年生が、日本の昔話を英語で演じる学習を通して、発話だけでなく、ジェスチャーなどの表現の工夫もして、言語としての英語により親しみをもつ様子が見られる。

### (4) 学校関係者による評価

#### <児童>

- 英会話学習を楽しみにしている児童が多い。
- ALTやEAAに親しみを感じながら、交流活動を楽しんでいる。
- 他の教科と比べ、特に英会話学習の授業においては、進んで友達にインタビューをするという児童も見られる。

#### <保護者>

- 大多数の保護者が、低学年からの英会話学習の実施に肯定的であり、英会話学習の実施が、英語に慣れ親しむこと、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成、外国語や外国の文化に対する興味・関心の高まりにつながると期待している。

## 4. 実施の効果及び課題

- 第1学年からの英会話学習の実施は、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成に効果的である。
- ゲームなどで楽しみながら学習することで、児童の外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっている。
- 外国籍の児童が転入してきた際、自然と受け入れることができている点も異文化への理解が高まっている効果であると考える。
- 英語チャレンジDAYの実施により、多くのALT・EAAとふれ合うことができているが、児童がさらに積極的に英語でコミュニケーションをとろうとするような実施ができればと考える。

## 5. 課題の改善のための取組の方向性

- これまでのモデル校等の実践例を参考に、指導方法の工夫や、タブレット端末を活用した授業など、職員で共有して授業改善を図っていく。